

立川市商店街振興組合連合会女性部会「エコ1店1品運動」

1. 取り組みの概要

- 立川市商店街振興組合連合会女性部会では、部会長である池谷和子氏が営まれるお店（茶小売店「狭山園」）が取り組んできたリサイクル活動に対して平成13年度東京都グリーンコンシューマー奨励賞受賞を機に、「エコ1店1品運動」を推進している。
- 同部会は平成14年度東京都グリーンコンシューマー奨励賞を受賞している。

2. 商店街概要

商店街名	立川市商店街振興組合連合会女性部会
所在地	立川市羽衣町 2-45-1 狭山園内
構成数	7 商店街（立川市商店街振興組合連合会の構成数：27 商店街）
URL	http://www1.m-net.ne.jp/tsr-mm/lady/top.htm

3. 取り組みに至る経緯・背景

- ✓ 女性部会長の池谷和子氏の夫妻が営む、お茶小売店「狭山園」では13年以前より、消費者から使用済み茶殻を回収し店舗設置の生ごみ処理機で堆肥化し還元している。

[写真] 生ごみ乾燥機



[写真] 乾燥処理後の茶殻



- ✓ そのほか、乾燥処理された茶殻を利用して作製されたエコドール（リサイクル人形）やエコまくらなどのリサイクル品の販売や、消費者の使用済み茶殻の持参またはマイ

バック持参で商店街（立川市羽衣商店街）スタンプシールを進呈している。

- ✓ 同店舗ではこれらの取組が評価され、13年度「第1回東京都グリーンコンシューマー^(※1) 奨励賞」受賞している。
- ✓ 同時期に、立川市商店街振興組合連合会（立川商連、27商店街）では市内7つの商店街のおかみさんで構成する女性部会^(※2)の部会長に池谷和子氏が就任し、「消費者と一緒に環境にやさしい活動を行っていききたい」思いから、狭山園での取組をひな形に、個人店舗で取り組める環境活動として「エコ1店1品運動」を採り入れていくこととなる。

※1 グリーンコンシューマーとは、環境にやさしい賞品やサービスを率先して選び（または提供し）、環境に配慮した行動を取る人のことを指します。

※2 立川商連女性部会では、活動目的として、①商店街や商店で働くおかみさんを中心に立川を元気で暮らしやすい、楽しい街にする。②地域を越えて情報交換し、女性が現場で活躍できるようにする。③環境にやさしい商店（街）になる。 を掲げて取り組んでいる。

- ✓ 女性部会では、立川市総合リサイクルセンターおよび清掃工場におけるベルトコンベヤーに流れる膨大な量のペットボトルの光景などの視察を通して、「ゴミ問題に対する事業者の責務」を痛感し、視察活動を通して学び得たことが自らの店頭で無理なく取り組める意識が働いたことが「エコ1店1品運動」へのきっかけにもなっている。

4. 取り組み内容

（1）取り組みの実態

- ✓ 女性部会7商店街のおかみさんのお店1店舗1店舗ごとが環境配慮商品やサービスを提供する「エコ1店1品運動」を展開している。
- ✓ そのほか、無駄な包装を極力なくし必要な分だけ販売する量り売りの良さをアピールする「容器を持ってお買い物」キャンペーン、仕入れや販売を通して発生するお店のゴミを別の新たな資源として活用する「自店のゴミをゴミにしない」取り組みを普及・推進している。

[表] 女性部会所属の各商店街店舗におけるエコ1店1品運動一覧

商店街名	店名 (業種)	内 容
高松町商店街	アライ写真館 (写真撮影)	証明写真のデジタル撮影のススメ⇒現像廃液を削減し、環境汚染防止
	横町屋 (米穀商)	糠を無料で進呈⇒ごみ減量のための有効活用
	バナビット シムラ (電化製品販売)	超寿命電球のススメ⇒資源削減とごみの減量
	高橋畳店 (畳製造業)	畳替えの時の古いゴザの活用⇒モノの大切さの啓蒙とごみの減量
	田中薬品 (薬品・化粧品販売)	手提げ袋不要の方にスタンプ5枚⇒マイバッグのススメ⇒資源削減とごみの減量
	寿美吉 (飲食業・日本そば)	出前用の発砲スチロール皿の廃止⇒陶器皿にして、ごみの削減
	生活館ヤジマ (日用雑貨・家具販売)	ショッピング・カートのススメ⇒レジ袋の削減⇒石油資源の削減
シネマ通り商店会	婦人服 金森 (婦人服販売)	洋服ハンガーの再利用⇒クリーニング屋さんに譲って、ごみの削減
	ヘアメイク 田代 (美容院)	紙製容器の詰替え用シャンプー・リンスの使用⇒地球温暖化防止のためのCO ₂ の削減
	南原島管工 (水道工事)	節水コマのススメ⇒水資源の大切さの啓蒙
北口大通り商店会	丸屋本店 (呉服店)	①古布のはぎれや古布製バッグ等の販売⇒モノの大切さの啓蒙とごみの減量
		②着物のトラブル(洗う・直す・染等)解決のお手伝い⇒モノの大切さの啓蒙
諏訪通り商店街	ホマレヤ (婦人用品販売)	①ハンガーの間屋への返却⇒資源削減とごみの減量
		②無名入の手提袋を使用し、再利用のススメ⇒再使用による資源削減
	米村弘後援会事務所 (事務所)	マイ箸の利用促進⇒資源削減とごみの減量
	菊川園 (茶小売店)	マイバッグのススメ⇒資源削減とごみの減量
南富士商店会	滝ノ上米店 (米穀商)	米袋の再利用⇒資源削減とごみの減量
	小樽茂子 (下着訪問販売)	包装袋等回収⇒ごみの減量
錦商店街	中国料理 五十番 (飲食業)	①食べ切れなかった料理を無料タッパーでお持ち帰り⇒モノの大切さの啓蒙とごみの減量
		②使用済割箸を使用してのコースターづくり⇒ごみの減量と活用
	北島こうじ店 (米麴製造販売)	簡易包装とタッパー・容器持参のススメ⇒資源削減とごみの減量
羽衣商店街	OZAWA (化粧品販売)	資生堂ガラス瓶の回収⇒再資源化とごみの減量
	狭山園 (茶小売店)	①回収茶殻の乾燥茶有機肥料素材を無料進呈⇒ごみの減量と活用
		②茶殻使用の「エコ茶ンドール」「エコ枕」販売⇒ごみの減量と活用
③マイ茶缶・マイバッグのススメ⇒資源削減とごみの減量		

(出典) 立川市「たちかわし環境ブック 2008」より

- ✓ 13年度のこれらの取り組みが評価され、14年度「第2回東京都グリーンコンシューマー奨励賞」を受賞している。ほか、立川市の「平成20年度たちかわ環境賞大賞」を受賞している。

[写真] たちかわ環境賞大賞の受賞



(2) 事業運営上の問題点とその対応

- ✓ 女性部会のこれまでの 3 つの取り組みは部会メンバーである 7 商店街に限られていたことから、15 年から 17 年の 3 か年度にかけて「エコ 1 店 1 品運動」をはじめ、「容器を持って、お買い物。」や「自店のゴミをゴミにしない！」といった取り組みキャンペーンを展開し、商店街共通ポスターを作製し、市内全域に PR 活動をはかっている。

[写真] 女性部会所属の各商店街店舗におけるエコ 1 店 1 品運動ポスター



(3) 事業継続のポイント

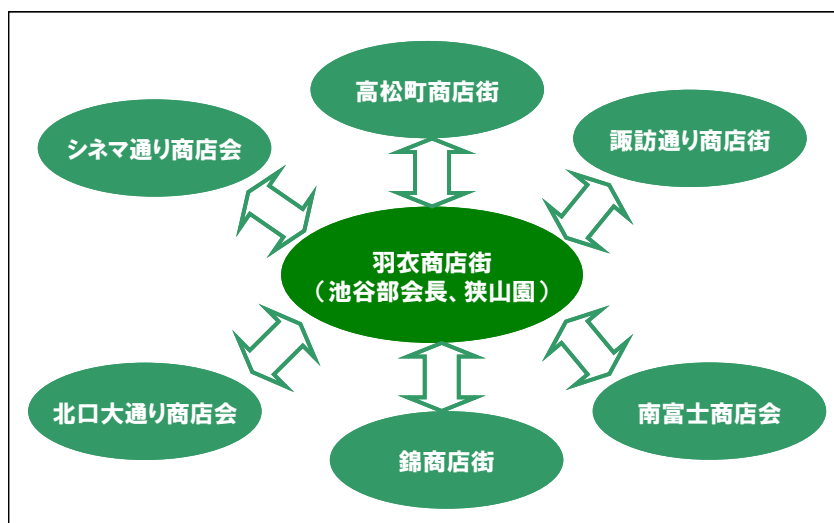
- ✓ 夫婦で営むお店にとって、おかみさんとは、家庭では日頃からゴミ分別に心掛けていることから、お店でもエコ 1 店 1 品運動のほか、消費者に対してマイバック持参など「容器を持って、お買い物。」への積極的な働きかけが行っていける意識が根付いてい

ることが挙げられる。

5. 地域とのつながり

- ✓ 女性部会が取り組む「エコ1店1品運動」などのエコ活動は、池谷和子部会長（茶販売店「狭山園」）の所属する羽衣商店街を中心に、ほか6商店街のおかみさんの店舗で取り組まれている。

[図] 立川商連女性部会の構成員



6. 取り組みによる成果

- ✓ 女性部会では、毎年秋開催の市民祭「たちかわ商人祭」において、『おかみさん会マイバック抽選会』を行っている。
- ✓ おかみさん会マイバック抽選会とは、女性部会所属の商店（21店舗、平成21年11月1日実績）よりエコ1店1品（エコ商品）を出品してもらい、イベント当日にマイバック持参者に対して抽選会を行い、先着1,011本を提供している。
- ✓ 平成22年「たちかわ商人祭」においては、女性部会（7商店街）規模から連合会（27商店街）規模へと拡大し、エコ1店1品（エコ商品）の出品を目指すこととなっている。おかみさん発のエコ意識が立川市域全域に広がりを見せるきっかけとなっている。

7. 今後の課題・展望

女性部会の草の根活動で始まった、消費者とのコミュニケーションを通して取り組んでいる「エコ1店1品運動」などの‘川下’活動のほか、今後は商品を供給する問屋や製造

会社などから「ゴミを仕入れない」、「川上」への環境活動の働きかけが重要ではないかとの意識が高まっている。